

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 42 号
件 名	下山小学校改築事業に関することについて
要 旨	<p>下山小学校の老朽化に伴う改築事業で、現在のグラウンドに新校舎を建設するとの新潟市教育委員会の案に対して地域でさまざまな意見が出ています。</p> <p>市教育委員会案どおりに現在のグラウンドに新校舎が建設された場合、3年間はグラウンドが使えないこととなります。</p> <p>新潟大学の専門家は「9歳から12歳はゴールデンエイジと言われる世代で、この時期に急成長する。さまざまな遊びやスポーツを経験させることが大切で、グラウンドが使えないのは発育上マイナス」と指摘しています。</p> <p>成長期にある子供たちが3年間グラウンドを使えないことは、体育の授業はもちろん、昼休みの遊びも野球やサッカーなどの部活動もできなくなり大問題です。</p> <p>老朽化した下山小学校の改築は急いで行う必要があります。</p> <p>新潟市は、下山小学校に通う在校生を持つ親や祖父母、地域住民の声に真摯に耳を傾け、子供の発育を阻害する新潟市教育委員会案は見直すべきです。つきましては、下記の事項について陳情します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 下山小学校の早期改築を行うこと。 2 改築中でもグラウンドを使用できるように改築方法などで工夫を行うこと。 3 改築に当たっては学校周辺住民との合意形成を図ること。
付 託 年月日 委員会	<p style="text-align: center;">第1項 ～ 第3項</p> <p style="text-align: right;">} 文教経済常任委員会</p>
受 理	平成22年9月1日 第240号